



特
遠 13
2378
238

世景清外傳と久讀本あり夫の
 坪山翁叙志ぬが筆作を云葉
 の花を桜木小咲せる其の
 の深山末よりくくる
 野もろい舞の巻筆
 の不拍子より
 声も又一興
 るらんを
 のまじを
 墨のら曲るる
 作者の教ふ

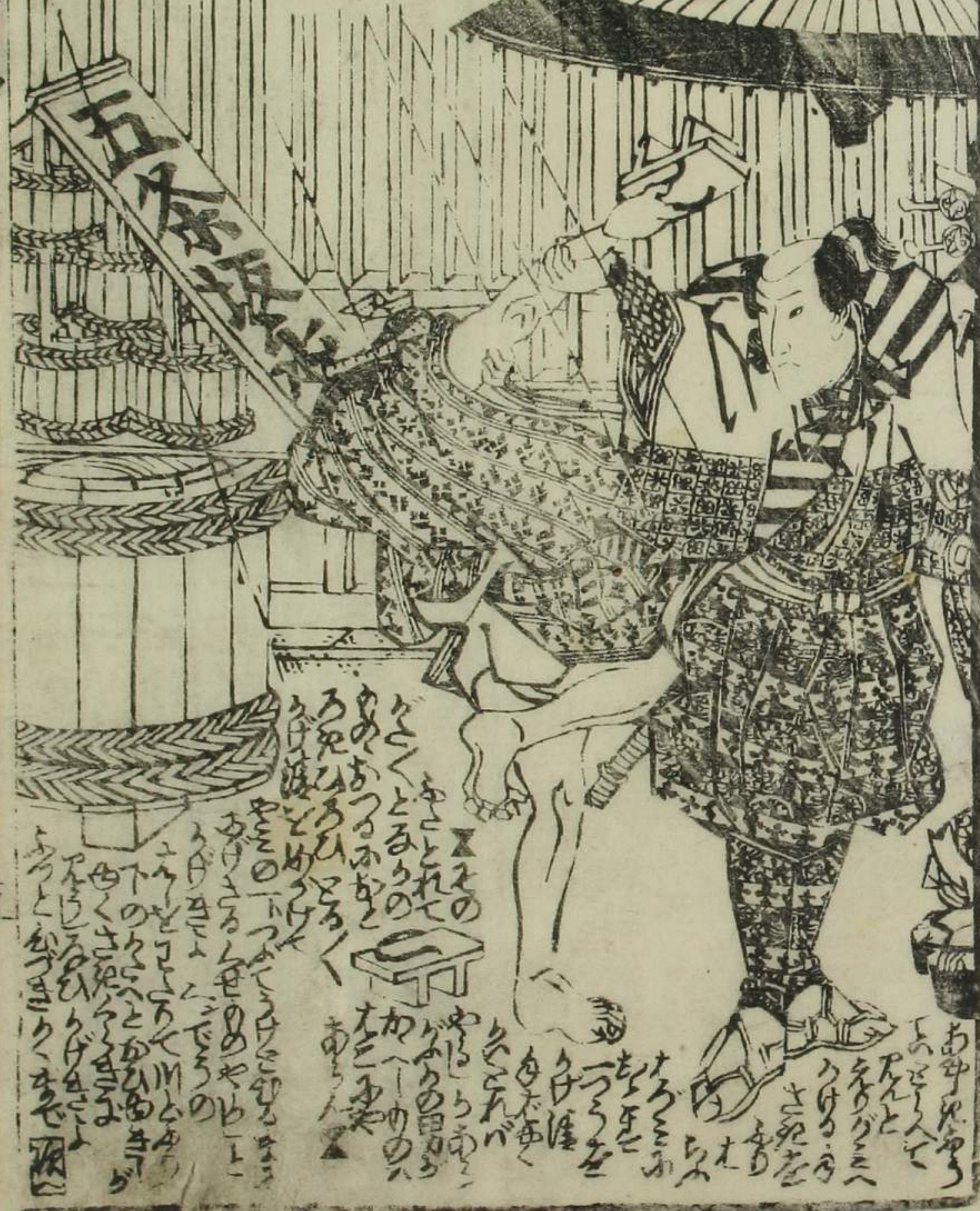
世景清と名ありて出る
 五世景清と名ありて出る
 合巻を山書板元へ稿参
 四方の正統美圖垣主人
 愛亭笑顔





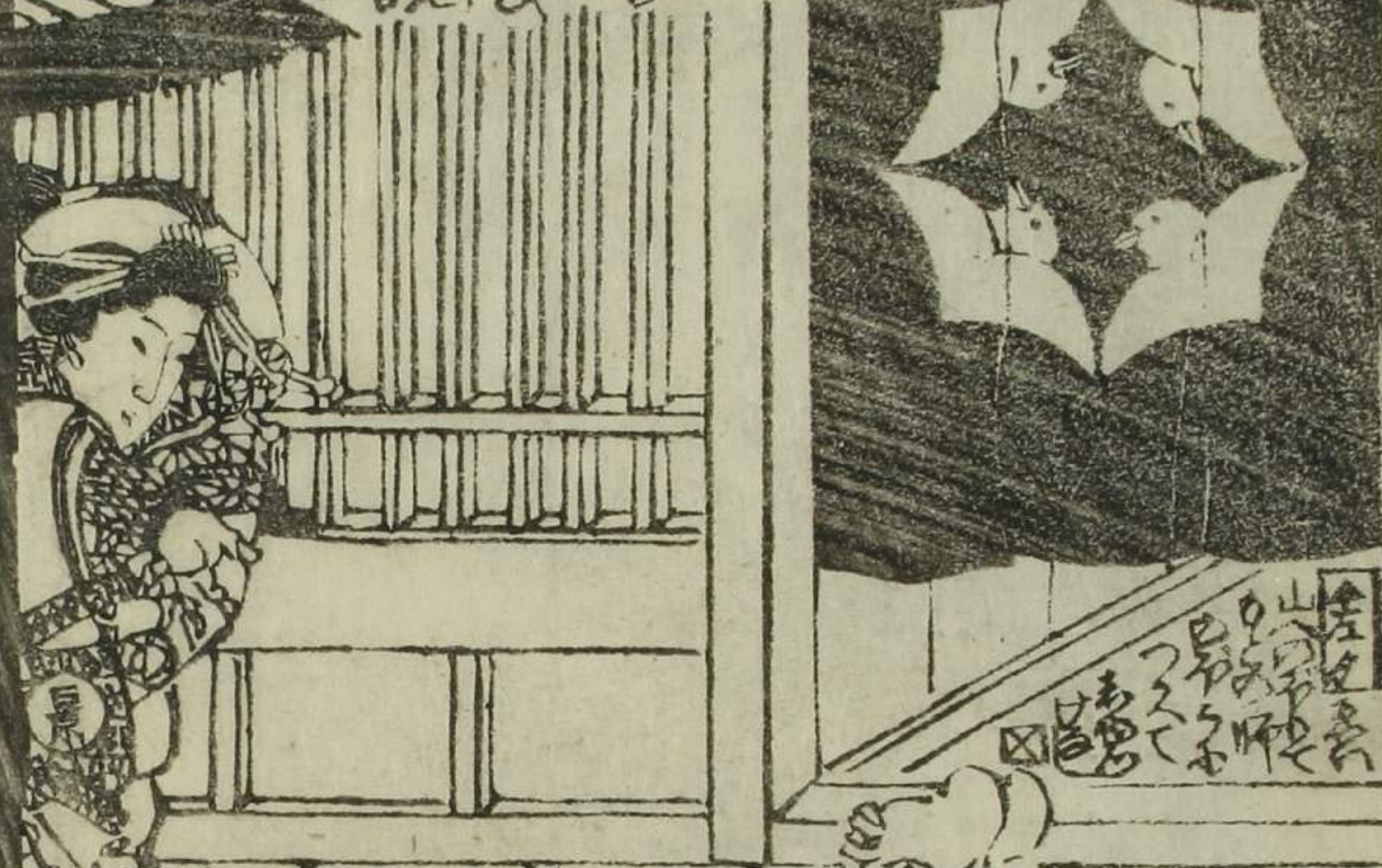


この世の
人々の心
をいかに
かきまわ
るべきか
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり



あつちの
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり

この世の
人々の心
をいかに
かきまわ
るべきか
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり



あつちの
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり
と云ふは
世の常
なる事
なり

ついでにやうくおのちのまごをよしのめをさす
 目しひくくおのちのまごをよしのめをさす
 又てしほあそびのまごをさす
 まごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす



かみかみかたのまごをよしのめをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす

めをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす

ついでにやうくおのちのまごをよしのめをさす
 目しひくくおのちのまごをよしのめをさす
 又てしほあそびのまごをさす
 まごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす

ついでにやうくおのちのまごをよしのめをさす
 目しひくくおのちのまごをよしのめをさす
 又てしほあそびのまごをさす
 まごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす



めをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす
 ひとりのまごをさす



舞扇由世景清

芝神明前
和泉屋
市江流

下



三の巻の...
 又...
 ...
 ...

四の巻の...
 ...
 ...

五の巻の...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

ついでとくことさのて
のせとどしるひそれ
さびけいへさてえ
てもこれがさくさく
かつかく
なるの
さびへ



ついでとくことさのて
のせとどしるひそれ
さびけいへさてえ
てもこれがさくさく
かつかく
なるの
さびへ

母を
けん
かろ
大
あ
うけ



その内か
うち
それ
あるの
ついでとくことさのて
のせとどしるひそれ
さびけいへさてえ
てもこれがさくさく
かつかく
なるの
さびへ

ついでとくことさのて
のせとどしるひそれ
さびけいへさてえ
てもこれがさくさく
かつかく
なるの
さびへ





右の欄に日記の事あるは其の日の事なり
 左の欄に日記の事あるは其の日の事なり
 ... (vertical columns of text) ...

右の欄に日記の事あるは其の日の事なり
 ... (vertical columns of text) ...



右の欄に日記の事あるは其の日の事なり
 ... (vertical columns of text) ...

左の欄に日記の事あるは其の日の事なり
 ... (vertical columns of text) ...



